

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ありすの家こどもデイサービス早良		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		令和7年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		令和7年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月17日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援後に訪問先施設とカンファレンスを行っている。	訪問先のご都合に配慮して行っている。	引き続き、訪問先のご迷惑にならないように、連携をしながら訪問支援を行っていく
2	訪問支援員として、保育士、理学療法士を配置している。多職種で支援を行う事で、多角的な視点での、評価・支援を提供することができる。	情報共有することで、支援内容の見直しを専門性の意見を踏まえて行う事ができる。	今後もカンファレンス内で、情報共有を行いながら、より良い療育につなげていく。
3	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	面談を実施している。また、毎回の支援前と支援後には、保護者とのやりとりを行い、経過をお伝えしている。	面談やLINEでのやり取りを積極的に行い、保護者との情報しっかりと共有できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラムや家族などの参加できる研修の機会や情報提供を行う機会が少ない。	面談などの家族支援は行っているが、ペアレントトレーニング等は行う機会がなかった。事業所ではなく、親子会での講演会などが必要である。	来年度は、放課後等デイサービスで行っている親子会での同時開催を行っていきたいと考えている。
2	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている機会が少ない。	第三者による外部評価を受ける機会が少ない。	来年度より、第三者による外部評価を受け入れていく予定である。
3			